

船舶事故等調査報告書

平成27年5月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014那第52号
事故等種類	衝突
発生日時	平成26年12月9日 14時10分ごろ
発生場所	沖縄県竹富町竹富東港 竹富東港第4号灯標から真方位285°730m付近 (概位 北緯24°20.21' 東経124°05.61')
事故等調査の経過	平成26年12月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客船 ぱいじま、98トン 140588、有限会社安栄観光 B 旅客船 くまみー2号、4.9トン 293-39909沖縄、有限会社竹富島マリン倶楽部
乗組員等に関する情報	A 船長A、五級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	A 右舷船尾部外板に擦過傷 B 右舷船尾部外板に亀裂及び手摺りが折損
事故等の経過	A船は、船長Aほか2人が乗り組み、チャーター便として乗客を迎えるため、竹富東港の浮棧橋（以下「本件浮棧橋」という。）の東側に着棧しようとしたが、既に他の船舶が係留していたため、本件浮棧橋の西側に出船右舷着けしようとして左回頭していたところ、東風により圧流され、平成26年12月9日14時10分ごろA船の右舷船尾部が本件浮棧橋西方の岸壁に係留していたB船の右舷船尾部に衝突した。 B船は、本件浮棧橋西方の岸壁に船首着けで係留中、A船と衝突した。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東、風力 6、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期
その他の事項	船長Aは、沿岸域情報提供システム（MICS）で、気象情報を入力していた。 船長Aは、本件浮棧橋での着棧経験が多数あった。 本件浮棧橋は、長さ約50mで、陸岸から北東方向に設置されていた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与	A あり、B なし A なし、B なし A あり、B なし

判明した事項の解析	A船は、本件浮棧橋に着棧作業中、風力6の東風により圧流されたことから、本件浮棧橋西方の岸壁に係留中のB船に接近し、B船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船が、本件浮棧橋に着棧作業中、風力6の東風により圧流されたため、本件浮棧橋西方の岸壁に係留中のB船に接近し、B船と衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 風の影響を受けての着棧作業においては、係留中の他の船舶がいる場合、同船から余裕をもった距離で行うこと。